

長野日報
10月15日(日)

記事中の写真は長野日報社様
のご厚意によりカラー写真に差
し替えさせていただきました。

長

伝統継承 飛躍誓う

二葉高創立110周年

同窓生ら1200人 カノラで記念式典

諏訪二葉高校（諏訪市）の創立110周年記念式典（同実行委員会主催）が14日、岡谷市のカノラホールで開かれた。在校生や同窓生ら約1200人が、歴史と伝統を積み重ねる母校の節目を祝い、「自主・努力・感謝」の目標のもとさらなる発展と飛躍を誓い合った。

（増沢伸）

同校は1901（明治34）年開設の上諏訪町立諏訪補習学校を前身に、08（明治41）年上諏訪町立諏訪高等女学校として誕生。今年は17（大正6）年に長野県立諏訪高等女学校となり県立移管100年、また岩屋今朝吉初代校長の没後100年にもあたる。三つの節目を祝うため、式典のほか、10年誌と岩屋校長を偲ぶ小冊子の刊行、記念ロビーコンサートなど事業を行ってきた。

式辞で実行委員長の竹花光

とを祈念する」と期待を寄せた。

2年生の山崎未唯花・新生徒会長は「先輩方の築き上げた良い伝統を継承し、生徒一人ひとりが二葉生であることの誇りを持ち、自覚し、新たな二葉の歴史・文化を築くことを誓う」と決意を述べた。全校で高らかに校歌を斉唱し、心新たに歩み始めた。



創立110周年を祝った諏訪二葉高校の記念式典＝岡谷市のカノラホール

能楽の世界紹介

井上さん
記念講演



生徒の狂言体験もあった諏訪二葉高創立110周年記念講演

諏訪二葉高校は14日、創立110周年記念講演を岡谷市のカノラホールで開いた。文化庁の重要無形文化財指定保持者認定を受ける狂言方泉流の能楽師、二世井上松次郎さんが「狂言ってなんぞや」と題し、「盆山」「蝸牛」の上演と場面ごとの解説をした。一般参加も含め古典芸能に親しんだ。

能と狂言の違いについて「能はオペラやミュージカルのような演劇、狂言はショートストーリーの会話劇。二つの総称が能楽」と説明。狂言の特長は、役者がゆつくりはつきり大きな抑揚のある声で話し、舞台上道員が無く、お笑いの要素を含む内容であるとした。「大きな声で話すのは、屋外で演じたので遠くの人にセリフが届くための工夫。照明や舞台上道員がないので、一つずつ緻密にやることを求められる」と話した。

舞台上生徒10人が発声や「盆山」の演技を体験。井上さんは「古典芸能はなじみがないが、身近に感じてほしい」と呼び掛けた。

（増沢伸）

諏訪市

ニュース

諏訪市の動き

市民新聞グループ
 諏訪市民新聞
 〒392-0016
 諏訪市豊田文出1153-3
 ☎0266-52-3400
 FAX57-0117
 www.shimin.co.jp
 E-mail
 suwa@shimin.co.jp

SINCE 1885
 あなたの夢が
 生きている
カネジョウ
 岡谷市中央町
 TEL23-5533

節目祝い更なる飛躍へ

二葉高創立110周年記念式典

諏訪二葉高校創立110周年記念式典が14日、岡谷市カノジョホールで開かれた。生徒や同窓会、保護者など約1200人が出席。節目を祝い、更なる飛躍を誓った。

同窓会、後援会、PTA、学校で組織する記念事業実行委員会主催。こしは県立移管100年、初代校長岩垂今朝吉の没後100年を祝う。小池良彦校長は「生徒の皆さんには新しい社会を自ら創造する力を身に付けてほしい。諏訪の地に新しい学びの翼、羽はたくことを祈念する」と述べた。

山崎未唯花生徒会長は「生徒一人一人が二葉生であることに誇りを持ち、新たな二葉の歴史、文化を築き上げていくことを誓う」と決意。生徒



校歌斉唱で思いを一つにする出席者

校長は「生徒の皆さんには新しい社会を自ら創造する力を身に付けてほしい。諏訪の地に新しい学びの翼、羽はたくことを祈念する」と述べた。

山崎未唯花生徒会長は「生徒一人一人が二葉生であることに誇りを持ち、新たな二葉の歴史、文化を築き上げていくことを誓う」と決意。生徒

諏訪市民新聞 10月15日(日)

記事中の写真は諏訪市民新聞様のご厚意によりカラー写真に差し替えさせていただきました。

の指揮とピアノ伴奏により出席者全員で校歌を歌い、思いを共有した。

式典後は、狂言方と泉流、能楽師の井上松次郎さんが「狂言ってなんぞや?」の題で講演。実演・解説のほか、代表の生徒10人が、狂言独特の「ゆつくり、

はつきり、大きなイントネーション」のせりふの言い方にも挑戦した。

式典出席の同窓会員らには、110周年記念誌「伸びゆく」と別冊「岩垂今朝吉先生を偲(しの)ぶ」を配布。記念事業は第10回記念ロビーコンサートなど5項目を企画し、式典の開催で全事業を完了した。



記念講演で、生徒に指導する井上さん